野田はまなす会会報
No.50 平成27年2月

はまなす通信

写真：城内高台団地（岩手県立久慈工業高等学校グラウンド東側）
　1月下旬には造成工事を終え、自主再建の人は4月から建て始められる予定。災害公営住宅も4月早々に工事開始の計画。

発行　野田はまなす会
編集　野田はまなす会事務局
（野田村役場総務課）
☎0194・78・2111

新春ごあいさつ

野田はまなす会
会長　桜庭昌吾

皆さまには健やかに新年をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年は新年早々、フランスで残虐なテロ事件が発生し、多数の死者や負傷者が出たと報じられ驚きました。一瞬、2001年のアメリカでツインタワーに飛行機2機が突っ込んで大惨事を起こした同時多発テロ事件を思い起こしました。ちょうど20年前、日本でもオウム真理教の猛毒サリンによる無差別テロ事件があり、多数の死傷者がでました。自分の主張を暴力で通そうとするテロは絶対許されません。

嬉しいこともありました。石油やガソリンがグーンと安くなりました。しかし、かつてはガソリン1リットル100円ぐらいの時もあり、その頃が懐かしいです。年金生活者にとって、今年これから生活用品の物価が上がることが気になります。

さて、近頃、NHKで「あまちゃん」放映以後、陸中海岸や三陸鉄道リアス線などがマスコミによく取り上げられています。ふるさと野田村がテレビなどに出ると本当に嬉しくなります。私たちが野田に住んでいた昭和20年代、30年代の子どもの頃は「日本のチベット」などと卑下されて、観光のためにお客がバスで訪れるなどほとんどなかったように思います。これからは、野田村にも多くの観光客が訪れて、野田の農水産物がたくさん売れて、村の人々が潤ってほしいと思います。「消滅町村」との予測をひっくり返すべく、一日も早い村振興策、人口増加策を切に期待したいと思います。

今年も1月8日から14日まで、新宿京王デパートで「全国うまいもの大会」が開催され、昨年に続いて、野田村から「国民宿舎えぼし荘」が弁当の実演販売を行いました。野田はまなす会では会員の希望者に開催のお知らせをメールで送りました。私たち役員は、11日にみんなで行ってきました。会員の皆さんに多大なご協力をいただきありがとうございました。

野田はまなす会では、希望者に野田村についてのテレビ放映や、東京での物産品販売、興味深い村の情報などを携帯電話のメールでお知らせしています。まだ届いていない方で情報提供を希望する方は、野田はまなす会の役員か野田村の事務局へ申し出てください。

結びに、今年も会員同士の親睦を一層深めるように、役員一同頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくご支援、ご協力をお願いいたします。6月21日の「ふるさと交流会」には知人友人を誘って、是非ご参加ください。お待ちしています。

新春ごあいさつ

野田村議会
議長　貳又正人

平成27年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申しあげます。

「野田はまなす会」の皆さまには、毎年の総会・交流会にお招きいただき、役員や会員の皆さま方とお会いし、大変懐かしく楽しい交流、楽しいひと時を過ごすことを毎年楽しみにしております。

今年は、野田村にとりましても戦後70年という節目の年、また、県知事選、県議会議員選挙、村議会議員選挙という4年に1度の選挙の年です。そして、何よりも大震災から4年を迎え、生活の基盤である「住宅団地7団地」のうち、この春には未完成であった2団地が完成するなど、目に見えて本格復興への道を歩む年となり、今年はいろいろな意味で「節目の年」になると感じております。

今年1年、「災害のない、事故のない、穏やかないい年」となりますよう、皆さま方の新年ますますのご健勝、ご活躍を念じますとともに、「野田はまなす会」のより一層のご発展をお祈り申しあげまして、あいさつといたします。

平成26年度 日帰りレク

「上野公園散策＆アメ横でお買い物」に参加して

加藤和子

（昭和46年３月、野田中学校卒業、根井出身）

10月5日（日）の朝、台風18号で、カーテンを開けると横殴りの雨が吹き荒れていました。しかし、前夜「雨天決行」の連絡があったことから、「美術館も博物館もたくさんある上野なら室内観賞に変更されるに違いない」と、上野駅を目指しました。

午前10時。集合場所の上野駅・公園口には、風雨をものともせずに集まった会員の皆さまが待機していました。やがて、予定どおり3人のボランティアによるガイド付き散策が決行されることになりました。

3グループに分かれて、国指定重要文化財の寛永寺旧本坊表門、東京国立博物館、泰楽堂、上野大仏、清水観音堂…などの史跡散策コースを2時間ほども歩いたでしょうか。最後まで風雨は止まず、腰までびしょ濡れになりました。

何度も訪れたことがある上野公園ですが、新たな出会いや発見がありました。清水観音堂では必死に何かを探す全身ずぶ濡れの老婦人がいました。イスラエル人の彼女は、なぜか「安産の神様」を探していたのでした。異国の地で異国の子育て観音にひたすら祈る姿には心打たれるものがありました。

ガイドの案内で散策

また、明治政府が公園第一号に指定した上野公園のど真ん中に、いつの間にかアメリカ資本のスターバックスコーヒーの大型店舗が鎮座していたこと。修学旅行で思い出の場所だった西郷隆盛像のそばには、「３１５３」というサインのお洒落なビルができていたことなどなど。絶え間なく移り変わる東京の姿を垣間見た気がしました。

散策も終え、参加者23人全員で、御徒町駅にほど近いお店で昼食となりました。貸し切り状態の店内では思いっきり野田弁を張り上げ、賑やかに楽しく、食べて、飲んで、笑っての時間を過ごすことができました。

荒天に備え、ゴム長を履いてきた人、アメ横で替えの靴下を調達してきた人、ビニールの傘袋を靴下代わりにして難を凌ぐ人など、はまなす会の皆さまの困難にめげない姿勢と逞しさを改めて実感したひとときでもありました。

昼食後は自由解散となりました。「アメ横」では、いくつかの店舗に小さな行列ができていたので並んでみたら、目玉企画「１００円セール」の「開運感謝セール」でした。威勢の良い呼び声につられて、あっという間に満杯詰めのビニールバックが6つも両手にぶら下がっていました。

天候にこそ恵まれなかった「上野公園散策＆アメ横でお買い物」でしたが、新たな出会いや発見、意外な楽しみが待っていることを再認識した一日となりました。

平成27年度の日帰りレクリエーションでは、また一人でも多くの方々とご一緒して、賑やかに楽しい時間を共有したいものと願っております。

「日赤献血ボランティア活動」に参加して

諫山とも子

平成26年10月18日（土）、東京、数寄屋橋にて、岩手県人連合会の「日赤献血ボランティア活動」がありました。これは、輸血の必要な病人、けが人を救うために何年も前から岩手県人連合会が協力している事業です。

岩手県人連合会に加盟している、野田はまなす会もこの事業に積極的に参加しています。既に何回か参加していますが、今回も野田はまなす会からは、桜庭会長、坂本副会長、加藤東京幹事、諫山埼玉幹事の4人が参加しました。

当日は天気も良く、朝9時に集合して、献血ののぼりや献血に協力した方への岩手県人連合会からの南部せんべいのお土産を袋詰めしたり、献血活動のための準備をしました。日赤の献血車や職員も到着して、10時から受け付け開始です。私たち岩手人会のボランティアは受付係と看板を持って献血を呼び掛ける係に分かれて活動を開始しました。

献血の目標は50人でしたが、午前中は人通りも少なく、成績はいまいちでした。幸い午後になって、人通りも多くなり、20人、30人と順調に協力者が増え、午後4時には目標人数の50人を達成して、無事終了することができました。

ここ数年、輸血用血液が不足している状況があり、野田はまなす会として協力でき、充実した一日になりました。

熱心に呼び掛け目標達成（写真中央：諫山とも子さん）

平成26年度 第三回役員会 新年懇親会

今年度最後の役員会が平成27年1月11日（日）12時から、霞が関ビル「東海大学校友会館」で行われ、役員11人が出席しました。

はじめに、会長から2点報告がありました。1点目は、1月8日～14日の間、京王百貨店新宿で開催の「全国うまいもの大会」に野田村からえぼし荘が弁当販売で出店しているため、激励と周囲への宣伝をお願いするということ。2点目は、十府ヶ浦公園の募金額が63万7千円であったということです。

協議では、十府ヶ浦公園募金をもう1年継続すること、平成27年度の総会およびふるさと交流会の日程や場所のこと、会員拡大に向けて努力することなどが話し合われました。

（幹事長　久慈 士郎 記）

役員会出席者

「東京様似会」総会懇親会に参加

野田村と友好町村を結んでいる北海道の「様似町」のふるさと会である「東京様似会」の総会・懇親会に、今年度初めて桜庭会長と久慈幹事長が参加しました。様似町の橋爪会長は2年前から私たちの総会・懇親会に参加され、福引の景品に「日高昆布」の寄贈をいただいていました。この度、野田はまなす会からは「野田の特産品セット」を5箱寄贈し、喜ばれました。

野田村と様似町のつながりは明治時代からで、にしん漁、サケ漁の従事者として、村から多くの出稼ぎ者が行って、中には定住した人もいるそうです。100年以上前から友好関係が長く続いており、平成10年に友好町村を締結したとのこと。野田はまなす会でも今後とも友好関係を深めていきたいと思います。

「十府ヶ浦公園」整備　緑化協力募金

募金額　637,000円

心のこもった募金をいただきました。誠にありがとうございます。この募金は全額野田村に寄贈いたします。

ご寄附いただいた皆さま（敬称略・順不同）

東京都
志村良子
佐藤匡宏
北田誠治
松本三枝子
新保弓子
椿ヨシノ
明内キサ子
小谷地守
戎谷牧子
宮崎昭子
佐藤ソノ

埼玉県
桜庭昌吾
諫山とも子
安藤君夫
中村勇
米田忠男
中村タイ子
坂下利幸
山口けい子
大澤清子
坂本悟
須賀妙
中島まさ子
河戸サヨ子
米田茂

神奈川県
桜庭昌
笠間かづ子
伊東皓子
高須勝
石附幸子
大沢直人
滝沢セイ子
臼居レイ子
柳沢秀雄
石崎伊世子
新山智子子
池田利恵子
中舘公喜

千葉県
小野正美
小田克幸
児樋久山中
玉口慈根藤村台
久山佐中
士正慶鈴保
信子江子
郎

茨城県
加倉井律子
冨岡伊智子
志賀みえこ

静岡県
日當郁夫

岩手県
小田克孝
音喜多幸子

栃木県
大平悦子

心のふるさと

新保弓子（旧姓田中）

（昭和40年3月、野田中学校卒業、港出身）

私が野田を離れて、今年でちょうど50年になります。まさに、半世紀の月日が過ぎ去った事になります。私の父は漁師で、海水から塩を作る仕事から始めて、小女子を採ったり、わかめやホタテ貝の養殖などを仕事としてきました。いわゆる採る漁業から育てる漁業を推進してきました。苦労もしたがそれなりに頑張っていたと思います。父はよく私を小さな船で沖へ連れて行ってくれました。初めての子どもが可愛くて、いつもそばに置いておきたかったようです。私はそのたびに船酔いをしていたのですが―。私を白いふんどしでおぶって泳いでいたことも遠い記憶の中にあります。

そんな野田を離れてからよく海の夢を見ました。寄せては返す波を急いで渡ったり、荒れた海の中、父を捜しに行ったりと、何かいつも懐かしく、哀しい思いが滲み出ていました。

この50年間、毎年欠かさずわが心のふるさとへ帰り、風光明媚な「十府ヶ浦」を眺めてきました。その野田の浜が一瞬にして地獄と化してしまったのは、今から、3年と11カ月前。もし父が生きていたらどんなにか嘆き悲しんだことかと思うと、早く逝ってしまって良かったのかもと思いました。

今私は、スポーツクラブでフラダンスを踊っています。フラは言わずと知れたハワイのダンスです。キラウエア火山が噴火しているあのハワイとは太平洋で野田は繋がっています。いや、皆地球という宇宙の中で共に生きています。

火山が噴火することや地震や津波が起こることは人間の力ではどうすることもできません。人間の存在は地球の生命の一点でしかないでしょう。でも、私たちにも何かできることがあるのではないかと思います。今は亡き両親を思い、夜空の星に手を合わせることもできます。新築して半年の家を津波で流された叔母夫婦が、私が生まれ育った空き家に住んでいました。嬉しいことに、その叔母たちが去年の2月、新築して引っ越していました。

野田は少しずつですが、確実に復興していると思います。私にできる事は限られていますが、いつもふるさと野田のことを思い、応援していきたいと思っています。

絵でつづるふるさと野田村の風景（その７）

「十府ヶ浦海岸」～米田浜から新山方向を望む～

（文と絵）桜　庭　　昌（中新山出身・野田中昭和33年卒）

十府ヶ浦海岸は、この絵のように、米田浜の十府ヶ浦駐車場から大唐の倉と三崎方向を眺めるのが一般的ですが、逆に、北側の野田漁港入口付近から南方向を眺めるのも良い。ここからは、南西方向にひときわ高い和佐羅比山、南に長く続く砂浜の十府ヶ浦、海に突き出たような黒崎の景観に触れることができます。

陸中海岸は、北山崎などに代表される断崖絶壁が続く雄々しい海岸美が多いわけですが、野田の海岸は優しさ感じられる小豆色の砂浜が長く続く海岸美で、このことが珍しいことです。中でも、十府ヶ浦海岸は野田を代表する景勝地で、平安の頃から歌枕ゆかりの地として知られています。それと、十府ヶ浦の前浜は、かつて「のだ塩」の産地として知られ、牛の背に塩を載せ、和佐羅比の麓を通り、遠く盛岡方面まで運んだ「塩の道」の起点でもあります。

また、陸中海岸の景勝地の多くは、国道から外れていますが、十府ヶ浦海岸はその国道が通っていることでも珍しいのです。さらに、三陸海岸は各地にハマナスなどの植物の群生が見られますが、十府ヶ浦の米田浜には大規模なハマナスの群生地があるのも珍しいことです。

ちなみに、この「ハマナス」は野田村の「村の花」に指定されています。皆さんもご承知の通り、私たちの会「野田はまなす会」の名称もここに由来しており、会旗のデザインも「ハマナス」になっております。

この絵は、いにしえの歌人たちがこの「十府ヶ浦」の地に立って、歌を詠んだ心に思い巡らせながら描いた一枚です。

あとがき

▼今年は原子爆弾を落とされ、終戦となって70年目の年です。日本国憲法で「戦争の放棄」を宣言して、日本には戦争のない平和が続いています。ありがたいことです。▼世界ではまだ自国の領土、資源など権益を求めての争い、宗教上の争いなどが絶えません。不幸なことです。このような人災は、自然災害と違って為政者の知恵を出し合えば必ず防げるはずです。▼20年前の１月17日、６千４百余名の犠牲者がでた、防ぎようのない阪神大震災がありました。この時の防災意識が３・11に生きています。▼岩手県人連合会では、今年も岩手県沿岸の復興視察を２泊３日で行いました。各被災地は、まだまだ復興の緒についたばかりです。３・11を風化させず応援し続けたいものです。▼野田は住宅建設地の割り振りが大変円滑に進んだようで良かったと思います。防潮堤建設で十府ヶ浦の美しさはどうなるか気がかりです。▼今年も、会員の皆さまとふるさと野田村の皆さまに幸多い一年でありますよう、ご祈念申し上げます。（Ｓ・Ｓ）

平成27年度　第27回 野田はまなす会総会
及び「ふるさと交流会」開催のお知らせ

【日　時】　平成27年６月21日（日）午後１時から

【会　場】　東海大学校友会館（霞が関ビル35階）
かつては日本一高いビルとして有名な「霞が関ビル」最上階
首相官邸と国会議事堂が眼下に見える会場です

【最寄駅】　地下鉄■銀座線「虎ノ門」出口5・11番徒歩３分■千代田線・日比谷線「霞が関」出口13番■丸の内線「霞が関」出口Ａ４番■南北線「溜池山王」出口8番■有楽町線「桜田門」出口2番

【会　費】　6,000円・年会費2,000円

【問い合わせ】
野田はまなす会
会　長　桜庭昌吾　☎090-9002-4356
事務局　野田村役場総務課　☎0194-78-2111